

＜グループ2の今後の資料提出の考え方＞

条文00の提出時期は調整中のため、グループ2の個別の補足資料についてヒアリングに係る今後の進め方を以下にまとめる。

資料提出の分類	補足説明資料
<p>① 各条00資料（地震）の結果を反映した上で提出する資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震建物01:耐震評価対象の網羅性, 既設工認との手法の相違点の整理について ・耐震建物08:地震応答解析に用いる地盤モデル及び地盤物性値の設定について ・耐震建物06:隣接建屋の影響に関する検討 ・耐震建物07:水平2方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する評価部位の抽出 ・耐震建物10:地震応答解析モデルに用いる鉄筋コンクリート造部の減衰定数に関する検討 ・耐震建物11:地震応答解析における材料物性のばらつきに関する検討
<p>② 各条00資料（地震）と合わせて提出する資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震地盤01:地盤の支持性能について ・耐震機電03:下位クラス施設の波及的影響の検討について(建物・構築物, 機器・配管系) ・耐震機電23:機器と配管の相対変位に対する設計上の扱いについて ・耐震機電11:地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う影響評価について ・耐震機電12:一関東評価用地震動(鉛直)に対する影響評価について(機器, 配管系) ・耐震機電21:隣接建屋の影響に対する影響評価について ・耐震機電13:既設工認からの変更点について ・耐震機電14:動的機能維持に対する評価内容について
<p>③ 各条00資料（地震）との整合を先行して示す資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震建物21:MOX燃料加工建屋に係る既認可からの変更点について ・耐震建物13:設計用地下水水位の設定について ・耐震機電22:地震時荷重と事故時荷重との組み合わせについて ・耐震機電16:配管系の評価手法(定ピッチスパン法)について ・耐震機電07:機器, 配管系の類型化に対する分類の考え方について ・耐震機電10:水平2方向の組合せに関する設備の抽出及び考え方について ・耐震機電19:機電設備の耐震計算書の作成について ・耐震建物29:計算機プログラム(解析コード)の概要に係る補足説明資料
<p>④ 耐震1.2Ssのヒアリング結果を反映した上で提出する資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震機電11:地震応答解析における材料物性のばらつきに伴う影響評価について

< 提出のフロー >

	補足説明資料	第1段階	第2段階	第3段階
①	条文00 (地震)		<input type="checkbox"/>	
①	耐震建物 01、08、06、07、10、11			<input type="checkbox"/>
②	耐震地盤 01		<input type="checkbox"/>	
	耐震機電 03、23、11、12、21、13、14		<input type="checkbox"/>	
③	耐震建物 21、13	<input type="checkbox"/>		
	耐震機電 22、16、07、10、19、29	<input type="checkbox"/>		
④	耐震機電 11	補足説明資料 (耐震1.2Ss) の提出状況を踏まえて提出時期を確定		

結果を反映

: 資料提出
詳細日程調整中